

令和3年9月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

9 月期は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う集中対策期間が延長されたことにより、飲食業や旅館業、食料品製造業等の売上げが減少する一方、木材・木製品や、卸売業、小売業、建設業等の一部に持ち直しの動きがあり、景況 DI 値は、僅かながら 5 ヶ月ぶりに上昇した。

しかしながら、景況感が改善している製造業や建設業の一部においても、原材料費の高騰や部品調達の遅れ、外国人技能実習生が入国できないことによる人手不足等により、収益や操業に影響が出ている。

感染者数が減少傾向にあることに期待しつつも、新型コロナウイルスによる経済活動への影響が長期化する中、コロナ前の経済活動に戻るのか不安との声が多い。

山口県の主要指標 DI 値（令和3年9月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
前年同月比は、	好転： 2.5% 悪化： 43.8% DI 値： ▲41.3% ポイント
売上高	(< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)
前年同月比は、	増加： 13.8% 減少： 43.8% DI 値： ▲30.0% ポイント
収益状況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
前年同月比は、	好転： 5.0% 悪化： 47.5% DI 値： ▲42.5% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和3年9月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲87.5	▲50.0	▲33.3	▲50.0	▲33.3	▲22.2	0.0	▲43.8
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
▲20.0	▲37.5	▲80.0	▲54.5	▲18.2	▲28.6	▲100.0	▲39.6
							

全 体
▲41.3


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	飲食店等の業務用の売上が戻らず、まだまだ新型コロナウイルスによる影響がある。	調味料製造業
	9月も緊急事態宣言の延長によるイベントの中止が相次ぎ、売上が激減し、依然として厳しい状況が続いている。10月からは小麦など原料の値上げも予定されており、これからも厳しい状況が予想される。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	コロナウイルスと台風の影響で取引先が休業になり、売上が減少している。	パン・菓子製造業 下関市
	後継者不足がたいへん深刻である。漁業者の減少で長門市域内の水揚げが年々大幅に減少している。今現在はウルメ漁が特牛で行われている。コロナ禍で団体旅行客がほぼゼロに近い状況が続いており、土産商品が動かない。	水産食料品製造業 長門市
	コロナの影響下での業況は、当組合員の業種によって変わらない組合員、季節的に厳しい組合員と分かれている模様。数字的な部分はわかりませんが、今年の秋冬の業況はコロナの状態とワクチンの普及率で変わってくると思われる。先月と変わりなく、ベトナムのコロナ感染も拡大したままで、実習生の入国が難しく冬に向けて多忙になる組合員が困っている。	水産食料品製造業 下関市
	9月は令和2年以上に売上は厳しかった。首都圏の緊急事態宣言による自粛傾向は地方にも前年以上に影響があった。緊急事態宣言等が解除され、県跨ぎの移動が少しずつ増加する中で、ワクチン効果により再度感染が拡大しないことを祈念する。緊急事態宣言下で受けたダメージは遅れて各企業に影響してくる関係上、更なる政府の補助の延長を期待する。現在もうに製品製造業界は原料不足・原料高騰の懸念材料は払拭できない。	
	9月は、JA山口県から提示された令和3年産仮渡金価格の提示の影響により、一般取引の米価格も15%から20%の下落となり、今年度における売上高の大幅な下落が予想されることとなった。また、新型コロナウイルスの蔓延に伴い山口県も自粛活動の要請が行われ、飲食店等の自粛休業や山口県内の各種イベントも中止されるものが多かった。全国的な飲食店の時短要請や酒類の販売禁止などにより、関連食材の売り上げも激減し、特に山口県の日本酒メーカーの売り上げ減少が酒米の買い控えというところにつながっており、	精穀・製粉業

	影響が多岐に広がっている。	
繊維工業	現在の外国人技能実習生人員は、中国 12 名、ベトナム 27 名、合計 39 名。9 月は、実習生 2 名が他に就職。10 月には、帰国予定の者もいる。新型コロナウイルスの影響で、ベトナムの送り出し機関との面接が出来ない状態が続いている。	下着類製造業
	令和 2 年と変わらない状況である。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	木材全般が高騰する状況の中、それに関連するのかどうか、住宅関係資材全般の価格が上昇している。この状況がいつ改善されるのか、価格の安定が求められる。組合では若干の売上有り。	製材業・木製品製造業 岩国市
	前年と変わらない状況。	製材業・木製品製造業 山口市
	組合員の平均売上額は、コロナ前の令和元年 9 月に比べ 5% の増加、コロナ禍の令和 2 年 9 月と比べ 20% の増加。令和 2 年 9 月と比べた売上額増加については、令和 3 年 7 月以降「ウッドショック」による木材価格の値上がり及び国産材の需要増大により、コロナ前の取扱高に戻ってきた。しかし、丸太等の原材料費や製品の仕入値高騰により収益については前年並みの状況が続いている。国産材についても高値維持により推移している。柱角についてはひっ迫状態。針葉樹合板については毎月続伸。需要増大により雇用拡大を必要とする状況だが先行きの不透明感のため現状を維持している。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	コロナ感染拡大の波に翻弄されつつも、ワクチン 2 回目接種率が 50% を超え、条件付きでの対策緩和も叫ばれるようになった。山口県は接種率が全国 1 位と県民の意識の高さと行政の運営がうまく機能している模様である。今後はウィズコロナの世界で沈滞している経済の活性化への対応が最優先の政策となるであろう。印刷業界にとっては今年の総選挙は大きな追い風であり、売上高の回復に少なからず寄与するものであると期待している。	印刷 下関市
	新規オンデマンド事業を立ち上げようと補助金の申請をするも落選。結果を精査し、早く新しい事業展開を考えないと印刷業界は先細りする一方。	印刷 山口市
窯業・土石製品	出荷量は、 (令和 2 年 9 月)骨材 74%、路盤材 64%、再生材 149% ↓ (令和 3 年 9 月)骨材 124%、路盤材 111%、再生材 105%	砕石製造業
	出荷量は、前月比 82%、前年同月比 91%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業

	<p>各事業所においては、比較的安定した仕事量がある模様。中国産の製品については、中国の原石価格高騰により、国産石材による自社加工品に迫る価格となっている。</p>	石工品製造業
	<p>9月の小売り売上は、前年比で横ばい。百貨店やギフトなど卸の売上がやや減少。緊急事態宣言下、陶磁器フェア（福岡マリンメッセ）が9/2～6まで、西日本陶磁器フェスタ（西日本展示場・北九州）が9/16～20まで開催された。両催事とも出店者が減少、入場者も減少したものの、個別の売上は令和元年並みを確保した模様。</p>	陶磁器・同関連製品製造業
一般機器	<p>新型コロナウイルスの影響で外国人技能実習生の面接ができず、引き続きリモート面接を実施しているが、ベトナムの感染症拡大によるロックダウンで募集が困難となり、面接も延期になっている。合格していた実習生も入国がいつになるかわからないために、キャンセルが発生。</p>	一般機械器具製造業 岩国市
	<p>8月に続き、組合員の数社で新型コロナウイルス感染症の影響があった。感染者が増える中、多くの業者、人が集まる大きな現場などは、影響も大きく、大変苦労しており、「仕事はあるのに、仕事ができない。」といった状況。感染者も減ってきているので、10月に期待したい。</p>	一般機械器具製造業 下松市
	<p>従業員不足及び元請の引き締めにより工事発注が伸び悩んでいる。人材の交替により、新規教育に時間がかかっている。受注が増え、納期調整に苦労しており、人材不足が続いているので、外注が増えていく。これらには、「強い部門を維持し、弱い部門は縮小または廃止をする。」「養成時間のかかる雇用はやめ、戦力は維持したままでコンパクトな会社にする。」等で対応する。自動車業界の半導体不足により、これから先は悪化が予想される。景気悪化は、自動車業界の部品調達遅れに伴う生産停止が原因と考えられる。中国向け大型輸出物件の商談がキャンセルとなり、国内にシフトせざるを得ない。新型コロナウイルスの影響で、全体的に萎縮ムードがある。来年からは通常受注にもどうかどうか、未だに先が見えない状況が続いている。材料費の値上がりに伴う単価のアップは受け入れてもらうことができた。</p>	一般機械器具製造業 防府市

	<p>新型コロナウイルスの蔓延による企業業績への影響が、製造業の一部企業に若干出始めてきた。一方、サービス業を中心に、大半の企業では、外国人技能実習生の入国が出来ず人手不足から残業が増加するとともに、事業の縮小を余儀なくされ事業に支障が出てきており、入国制限の早期解除が望まれるところである。新規入国が出来ないため、企業からは特定技能、特定活動の労働者の紹介を依頼されることが増えてきたにも関わらず、高賃金の都市部の企業への転籍が増え、人道的見地から外国人技能実習生が帰国するケースが増えてきている。そのため、各企業とも人員の確保に苦慮している。</p> <p>大きな変化は見られないが、中国経済の先行き不透明感が不安要素となる傾向にある。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
輸送機器	日立製作所主催の職域ワクチン接種は10月8日に終了予定。鉄道車両関係の受注は国内業者の2～3年後の新車両計画も不透明で、海外においても生産予定はあるものの、世界的なコロナ禍の状況により確かな見通しが立たない。半導体は、引き続き好調に推移して行く見通し。コロナウイルス対応については、社内の感染防止対策と感染した場合の対応等引き続き業務外のことが負担となっている。	鉄道車両・ 同部品製造業
卸売業	倉庫売上は令和3年度に入り減少傾向であるが、「海産物」は平年並みに戻ってきており、9月は微増となった。減少の原因としては、主に「いりこ」の入庫の激減であるが、「肉」についても入出庫が少ない状況である。	乾物卸売業
	「ふく」の価格が高騰している。今期は令和2年より厳しい状況になると思われる。	生鮮・魚介卸売業
小売業	緊急事態宣言のせいなのか組合員は来客が少ないと話している。集客及びお店の認知度アップのためにSNSに力を入れているが、緊急事態宣言後の集客に役立つことを願っている。組合でも理事会を開く予定であったが、自粛して出来ずにいる。会議だけでも、来年初旬にでもできると良いのですが。	化粧品小売業
	家電の売上は前年同月比95%位である。	機械器具小売業
	コロナ禍の令和2年9月と比べると約57%の売上。コロナ前の令和元年9月と比べ約54%の売上。自粛の要請に従い、9/26の日曜日まで営業休止の飲食店が多く、日中・夜間の駐車台数が激減し、駐車場売上（現金売上）が前半減している。貸しホールについては、大ホールへの使用申込みがなく売上減少が続いている。会議室の利用は回復傾向にある。	各種商品小売業 周南市

	<p>令和3年8月の売上はコロナ禍の令和2年8月と比べ▲16.8%と厳しい結果。令和3年9月26日時点で、令和2年9月に比べ▲13%で推移している。令和2年はGoToトラベルの効果で9月以降秋期の利用者数が大幅に増加したが、令和3年の期待は薄く、当面の間、客足の鈍さが続くと想定している。感染状況が好転してきているため、多少は回復基調に乗る事を期待したい。組合で酒販免許を取得し、オンラインショップで地酒の販売を開始する。</p>	各種商品小売業 萩市
	<p>9月の前年比供給高103.6%、来店者数100.4%。累計は、供給高94.6%、来店者数92.6%。市場野菜の高騰により、産直野菜の売れ行きが好調。運動会の中止や午前中開催の学校が多く、例年は弁当食材が売れるのだが、本年は家庭内で食べるスイーツ等がよく売れている。</p>	各種商品小売業 下関市
商店街	<p>延長に延長を重ねたコロナ対策規制が、あらゆる経済状況を悪化させた。</p>	岩国市
	<p>新型コロナウイルス感染症は落ち着きを見せているが、イベント等の自粛は続き宇部市政100周年の盛り上がりも今一つであった。経済活動が元の姿に戻るのには年末からその先という感覚である。</p>	宇部市
	<p>全国的に観光客は増えているが、当商店街の営業には好影響はない様子。飲食店は観光客も入っているが、他の業種は苦しい模様。洋品店は季節の変わり目で、10%程度増加している。商店街全体の売上の増加は緊急事態宣言の解除後に期待している。</p>	萩市
	<p>補助金を利用し、「商店街プレミアム商品券」を11/1に販売する。前年同様の好調な売れ行きに期待をしている。大いに販促に繋げていきたいものである。</p>	下関市
サービス業	<p>コロナウイルス第5波が襲来したことにより、8月はゆったりとした営業であったが、9月は例年と異なり、忙しい日が続いている。コロナ禍で遠出ができず、美容院に来店することも多いのか、売上はコロナ禍の令和2年9月と比べ120%を超えそうな勢いである。</p>	美容業
	<p>組合では、コロナウイルス感染症拡大防止に向け最大限の取り組みを進めているが、感染拡大の不安で来店サイクルが伸びる等で収益が悪化しており、先行きが不安である。</p>	理容業
	<p>9月の自動車業界は中間決算期のため、各社販売に力を入れて取り組んでいるが、近年の状況は過去の間中間決算期とは様相がかなり異なり、国が業務量の平準化を進めた結果なのか、車が売れていないのか、混雑もなく通常の月と変わらない状況となっている。併せて世界的に半導体不足が加速し車の生産が減産となり、納期の大幅な遅れが発生するなど、自動車販売会社も</p>	自動車整備業

	<p>厳しい状況に追い込まれており、これが数年後の車検台数に影響することが危惧され、業界の未来に不安が募る。</p>	
	<p>新型コロナウイルスが落ち着きを見せているので、顧客が戻ってくることに期待している。</p>	スポーツ・健康教授業
	<p>9月も前年同月を上回ったが、純粋なクリーニングの売上のみでは厳しかったと思われる。今後、チャンネルを多く持つことが重要だと感じている。同業者間でも格差が広がっているように感じる。付近の飲食店もようやく短縮営業が終わったが、以前ほどの顧客は戻らないと感じているところが多い。</p>	普通洗濯業
	<p>山口県からの飲食店時短営業要請を受けて、9/26まで休業した。4週間の休業は経営的に非常に厳しいものであった。今後はこのような事態にならない事を切に願っている。</p>	飲食業
	<p>令和2年はGoToキャンペーンがあったため、令和3年9月のJRの売上は、前年同月比25%程度となった。しかし、組合員の協力により物品販売が好調となり、利益が増加した。</p>	旅行業
	<p>令和2年9月と比べ、売上額52.7%、宿泊人員47.6%。コロナウイルス感染の影響のなかった令和元年9月と比べると、売上額51.1%、宿泊人員44.7%と非常に厳しい状況が続いている。新型コロナウイルス第5派の影響をまともに受けた月であった。</p>	旅館業 山口市
	<p>コロナウイルス感染症の影響により令和2年のコロナ禍と同じ環境である。入浴者数は前年同月と同数に留まり、売上高も前年並みであるが、管理費等の経費は燃料費等の値上がりにより増加し、収益に大きく影響した。収益状況が悪化しており、コロナ補助金、支援金は焼け石に水の厳しい状態である。</p>	旅館業 長門市
建設業	<p>中電への工事申請141件(当支部120件)、前年同月132件(同94件)。太陽光発電への申請25件(前年31件)、オール電化申請37件(前年53件)。LED街路灯への切り替え・新設申請41件(前年28件)であった。</p>	電気工事業
	<p>地方公共団体発注予定の工事について工事着工のかなり前から見積り依頼があるが、不況感を和らげようとする姿勢を感じる。左官工事業者の抱える技能者が急激に少なくなっており、僅かな工事量の増加で回復感を覚えるようになっている。</p>	左官業
	<p>コロナ対策と暑さ対策をし、人出が不足したままであるので、組合員間で協力をしながら、年度当初受注工事でも忙しく仕事をしている模様。</p>	管工事業

	<p>新型コロナウイルス感染者数はやや減少傾向にはあるものの、予断を許さず、緊急事態宣言も9月末に延長された一方で、日経平均株価は30,000円を超えた。景気動向は地方では理解しがたく、正確に掴めない。地元の土木建築業を考えると、公共への依存率は極めて高く、業者間の競合が顕著になっているように感じる。</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>
	<p>9月の受注高は、対前年同月比49.1%。令和3年度の累計では、対前年比85.4%。</p>	<p>土木工事業 萩市</p>
	<p>当地区の建設業においては、現在のところコロナ禍の影響は少ないと思われる。</p>	<p>土木工事業 長門市</p>
	<p>気温の高い日が続いたため、現場の施工効率がダウンし、収益に悪影響が出た。資材の値上がりが多く品物に波及しているが、販売価格になかなか転嫁できない状況になっている。</p>	<p>屋根工事業</p>
	<p>令和3年は何とかやり繰りして仕事量を確保しているが、令和4年以降も相当厳しい状況が予想される。鋼材、ボルト、デッキ、塗料などあらゆるものが値上げされており積算も相当慎重にならざるを得ない。手配が困難になっている物もあるため、仕事量にも影響が出始めている。</p>	<p>鉄骨・鉄筋工事業</p>
運輸業	<p>コロナウイルスに左右されながらの輸送であるが、輸出・国内向け共に幾らかの上昇はみられたものの対前年同月比0.2%強の減少。国内向けの輸送量の増加を切望している。燃料費は1.9円値上げ。中小輸送業にいくらかのメリットはあるが、物流動向の不安定さを大きく感じる。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>依然として海外からの輸入部品調達に支障が出ており、自動車関連においては一部操業停止に追い込まれる荷主企業もある。組合の輸送取扱高は前年比80%程度。来月についても明確な見通しは立っていない。保管事業は順調に推移している。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>物の動きが活発化してきている。特に工業関係と生活雑貨品などの小売り関係がよく動いており、輸送案件も増え、倉庫保管荷物もかなり回転している。コロナウイルス感染拡大による生活環境の変化により、特に都会からの移住・求職者が数名来ている。今後も増えてくるかも知れない。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>

	<p>タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲23.9%（令和3年8月1日～令和3年9月20日分）だった。8月1日～31日分は▲8.4%、9月1日～20日分は▲44.2%。令和2年度が新型コロナウイルスで大幅に落ち込んだため（2年8月は▲50.9%）、コロナ前の令和元年と比べると、それぞれ▲55.0%、▲65.6%、▲59.0%である。当組合の取扱いタクシー事業者は、光市、下松市、周南市、防府市の地域。8月分については、周南▲13.0%、下松▲30.3%、光▲4.2%、防府市地区が▲4.9%で、組合員の全域では▲12.5%、地区外（員外）+24.8%、合計▲8.4%（▲807千円）だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動する。CPが上昇し（前月637.5\$/トンが今月660.0\$/トン、前年350.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油は下がり（前月595.0\$/トンが今月563.0\$/トン、前年382.0\$/トン）。為替も円高（前月111.31円/\$が110.85円/\$）。燃料単価は+1.3%上昇、前年9月が低かった事もあり、前年比+32.8%となり、収入が落ちている中、大変厳しい状況。タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって慢性的に不足しているが、それ以上に需要が落ちているため、配車が追い付かないといった状況ではないようである。コロナ感染による医療崩壊が報道され、夜間の飲食や、大都市からの出張宿泊が激減した。長期休業や廃業する飲食店も多く、感染者が減ったとしても、利用客が以前のように戻ることは無いように思える。例年なら繁忙期となる年末を前に、たいへん不安な状況である。</p>	一般乗用旅客 自動車運送業
	<p>9月の取扱高は、若干の落ち込みがあったものの、ほぼ横ばいと判断している。また、新型コロナウイルスの影響についても、ほぼ無いと判断している。</p>	港湾運送業
その他	<p>外国人技能実習生の入国待ちの事業所と本国の送出機関をWEBで、実習生との面談等を行うなど、情報の共有は常に行っている。事業所側は、根気よく入国待ちの姿勢でいるが、実習生側の意思が弱くなり、辞退という結果になった案件が発生している。</p>	介護事業